

第三セクター等経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

1 第三セクター等の概要

法人名 株式会社ひがし振興公社

代表者名 代表取締役 井上 賢二

所在地 福島県白河市東釜子字狐内47番地

設立年月日 平成6年9月1日

資本金 1,100万円

【当該地方公共団体の出資額（出資割合）1,000万円(90.9%)】

業務内容 きつねうち温泉健康館、東交流宿泊館、東文化センター、東図書館の施設の維持管理及び運営管理

2 経営健全化方針を策定した理由

株式会社ひがし振興公社（以下「公社」という。）は、平成29年度決算において債務超過額が29,182千円となっていること、また、引き続き第三セクターで事業を行うことが適切であることと判断したため、経営健全化方針を策定したものです。

3 財政的リスクの状況

（単位：千円）

	令和4年度 決算	令和5年度 決算	目標達成年度 (令和15年度)
債務超過額	35,248	29,685	0

※令和元年度から5年度までを健全化計画1期間（5年間）とし、年間1,500千円以上の経常利益を目指し、その上で第2期間（10年間）を含む15年間で債務超過の解消を目指します。

4 主な取組状況

収支の改善対策として、割引入浴券の販売や、仕入れの見直し等による販売費及び一般管理費の縮減、計画的な情報発信、定期的かつ季節に合わせたイベント開催、顧客のニーズ調査の実施による新たなサービスの創出、ニーズや季節に合わせた食事の提供を行い顧客の確保に努めました。

当施設に関するチラシやパンプレットの配布をはじめ、「きつねうち温泉杯児童ソフトボール大会」と「きつねうち温泉杯グラウンドゴルフ大会」の開催、きつねうち温泉前の芝生広場で2日間にわたり開催された「音フェス in きつねうち温泉」への参加協力や4年ぶりに開催された「第20回しらかわ郷里マラソン大会」への協賛として、参加したランナーに無料入浴券を提供するなど、市内外にきつねうち温泉のPRに努め集客を図りました。

なお、借入金（令和5年度末残高）5,625千円は、令和8年度までに返済し経営の改善を図ります。

5 法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：千円)

		令和4年度決算	令和5年度決算
資産額		13,787	13,338
	流動資産	5,849	7,957
	固定資産	7,938	5,381
負債額		49,036	43,024
	流動負債	40,200	36,557
	固定負債	8,836	6,466
純資産額		△35,248	△29,685
	資本金	11,000	11,000
	利益剰余金	△46,248	△40,685

(損益計算書から)

(単位：千円)

	令和4年度決算	令和5年度決算
経常収益	165,059	187,383
経常費用	178,846	182,486
経常利益	13,787	4,897
法人税等	185	185
当期利益	13,972	5,562